

2013. 11. 6

3R 推進団体連絡会 第二次自主行動計画（2011～2015）

2012 年度フォローアップ報告

プラスチック容器包装リサイクル推進協議会

【概要】

1. 設立

平成10年（1998年）4月15日

2. 設立の目的

- ・ 特定事業者及び関連事業者の意思統一機関
- ・ 合理的な再商品化システムの構築
- ・ そのシステムの円滑の運用に向けた体制整備と普及・啓発

3. 名称

プラスチック容器包装リサイクル推進協議会（任意団体）
（ Plastic Packaging Recycling Council (PPRC) ）

4. 事務所所在地

〒105-0003 東京都港区西新橋1-1-21 日本酒造会館3階
TEL. 03-3501-5893 FAX. 03-5521-9018
URL : <http://www.pprc.gr.jp>

5. 事業内容

- ・ 再商品化の実態把握と研究
- ・ 3R、特にリデュースの推進
- ・ 主体間の連携
- ・ 再商品化に関する普及・啓発
- ・ 特定事業者の役割の完全履行

6. 会員

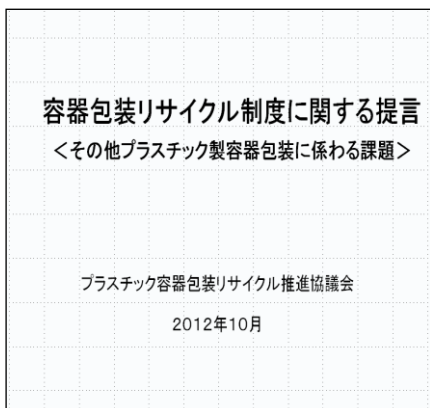
- ・ 会員数（2013年10月末現在）：97 会員（団体会員：34、企業会員：63）

7. 代表者

会長	小林三喜雄	花王株式会社（日本石鹼洗剤工業会）
副会長	大内山俊樹	株式会社ニチレイ（一般社団法人日本冷凍食品協会）
〃	森本 廣	山崎製パン(株式会社(一般社団法人日本パン工業会)
〃	米田幸生	日清食品ホールディングス株式会社 (一般社団法人日本即席食品工業協会)
〃	小坂橋正人	一般社団法人日本乳業協会
〃	水野靖彦	日本プラスチック工業連盟
専務理事	久保直紀	(プラスチック容器包装リサイクル推進協議会)

プラスチック製容器包装

■ 容器包装リサイクル制度に関する提言等を提出



2012年10月の3省ヒアリングの際「容器包装リサイクル制度に関する提言」を改めて提示するとともに、「容器包装リサイクル制度の在り方について」を提案しました。

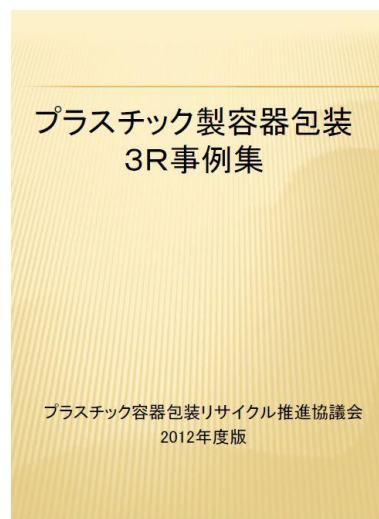
また2013年度9月スタートした容り法見直しの第1回産構審・中環審の合同会合に、「容器包装リサイクル制度に関する提言」を改めて提示しました。

【提言・制度の在り方を掲載】URL:

<http://www.pprc.gr.jp/news/2013102318000694.html>

■ リデュースと環境配慮設計で、3R事例集・第5版作成

プラスチック製容器包装（以下、プラ容器包装）の薄肉化、コンパクト化などプラスチックの使用量を削減し、また環境配慮設計を心がけた商品づくりなど3Rに関する特定事業者の取組み情報やその成果を継続して発信してきました。日頃より取り組んできた成果を、第5版目の3R事例集として作成し、プラ推進協のホームページに掲載し広く一般に広報しました。



3

【3R事例集 2012年版】

【2012年度版3R事例集をホームページに掲載】URL:

<http://www.pprc.gr.jp/3r/2010033015420268.html>

■ 市民・自治体・事業者の意見交換会を全国各地で開催

市民・自治体・事業者との連携・協働を重要な課題のひとつと位置付け、継続的に開催することとし、2012年度は、神戸、札幌、仙台、東京の4地区で意見交換会を開催し、2013年度には第5回意見交換会を熊本で開催しました（PETボトルリサイクル推進協議会共催）。

意見交換会で連携と協働を推進し、各主体との情報の共有化を図り相互理解と連携を図ってまいりました。

開催日	開催場所	参加人数	分科会テーマ
2012年7月13日	神戸市	74名	<ul style="list-style-type: none"> ■ リサイクル・3R ■ 容器包装の環境配慮設計について
2012年9月4日	札幌市	23名	<ul style="list-style-type: none"> ■ リサイクル・3R ■ 容器包装の環境配慮設計について
2012年10月31日	仙台市	43名	<ul style="list-style-type: none"> ■ リサイクル・3R ■ 容器包装の環境配慮設計について
2013年2月22日	東京都港区	89名	<ul style="list-style-type: none"> ■ 主体間連携はどのようにすればよいか ■ 分別・収集と識別表示の問題 ■ プラスチック製容器包装の再商品化はどうあるべきか ■ 容器包装についての要望と環境配慮設計 (DfE) ■ 拡大生産者責任 (EPR) と 3R
2013年9月20日	熊本市	69名	<ul style="list-style-type: none"> ■ リサイクル・3R ■ 容器包装の環境配慮設計について



【神戸・会場風景】



【札幌・会場風景】



【仙台・会場風景】



【東京・会場風景】



【熊本・会場風景】

■ プラ推進協・3R推進セミナー開催

会員向けの情報提供と関係主体との啓発活動の一環として、3R推進セミナーを開催してきました。2012年度は5月、10月、12月、3月の4回開催しました。

①容器リサイクル制度の課題と今後の展望、②循環基本計画の見直しと容器包装リサイクル法に係る現状と課題、③ケミカルリサイクルの学習と廃プラリサイクルの見える化、④材料リサイクル事業者に対する総合的評価／プラ容器包装に係わる実証試験の取組み報告などをテーマに開催しました。

	開催日	基調講演者	テーマ
2012年度 第1回セミナー	2012年 5月24日	関東学院大学 教授 織 朱實氏	容器リサイクル制度の課題と今後の展望
2012年度 第2回セミナー	2012年 11月19日	東京大学 教授 平尾雅彦氏 他	環基本計画の見直しと容器包装リサイクル法に係る現状と課題
2012年度 第3回セミナー	2013年 2月5日	東北大学 教授 吉岡敏明氏	プラリサイクルの見える化 R工場見学(2工場)
2012年度 第4回セミナー	2013年 3月28日	(株)アーステクニカ 技術部参与 加藤由章氏	近赤外線による物質選別技術/ 容リプラ選別と他の分野への応用
2013年度 総会記念講演	2013年 5月24日	福岡大学 教授 浅野直人氏	第3次循環基本計画案について
2013年度 第1回セミナー	2013年 6月17日	神戸大学大学院 教授 石川雅紀氏	容器包装リサイクル法見直しに向けて
2013年度 第2回セミナー	2013年 12月2日	公益財団法人廃棄物・3R 研究財団 調査部長 藤波博氏	循環3Rの動向について



【第1回セミナー】



【第2回セミナー】



【第3回セミナー】



【第4回セミナー】

■レジ袋の店頭回収・リサイクル実証事業、埼玉県内16店舗で9ヶ月間実施



2012年6月より9ヶ月間、特定事業者の自主的な取組みとして「レジ袋の店頭回収・リサイクル実証事業」を行いました。これは、プラ容器包装のより高度なリサイクルの可能性と課題を検証するとともに、多様な回収ルート構築に向け、新たなリサイクルの可能性を確認・検証するために取り組みました。

埼玉県下5事業者の16店舗で店頭で回収したレジ袋をプラスチック

ク材料に再生加工し、その材料を用いてフィルム化し、新たなリサイクルの可能性を確認・検証した。

また、学識者によるライフサイクル評価（LCA）を用いて、実証事業による環境負荷（温室効果ガス）および資源消費（化石資源）の評価を行い報告書にまとめました。

■ プラ容器包装に係わる実証試験に協力

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会が2012年4月より開始した「プラスチック製容器包装に係わる実証試験」事業に当協議会も協力してまいりました。

*実施目的：家庭から回収されたプラスチックを再資源化施設へ直接搬入し樹脂選別を行い実現可能な方法による選別の可能性、選別物の価値評価を行い、新たなリサイクルシステムの実現可能性を明らかにすること。

■ 再商品化手法の実態把握でワーキングチームを設置

関係省庁に意見具申した提言に基づく再商品化と分別収集の効率化への具体策を踏まえ、再商品化手法の実態を把握するために、材料リサイクル、ケミカルリサイクル手法の価値評価のための独自調査を開始し、2013年度にはワーキンググループを立ち上げ、定性的、定量的データの整備などを進めました。

■ エコプロダクツ 2012 に出展

2012年度は、「リサイクルの見学」と題して工場を再現し、リサイクルの流れとどのような製品に生まれ変わるかを学べる場を提供し、子供たちに3Rの重要性を体感してもらいました。



【展示風景】



【展示風景】

以上